

藤沢遊行寺ライトアップ

光

ゆぎよう

りの



令和6年

12.7_{SAT} ▶ 12.22_{SUN}

時間 | 午後4:30～午後8:00

場所 | 遊行寺 境内 ※ 荒天の場合中止

照明演出：江ノ島電鉄株式会社／アーキテイメント株式会社

協力：藤沢市／公益社団法人藤沢市観光協会／藤沢商工会議所

同時開催 藤嶺学園藤沢中・高等学校 × 湘南工科大学 アート展示

「光を結ぶ、光を掬う、光を聴く」

協力：藤沢市アートスペース（アーティストプラットフォーム事業）



令和
七年
開山
七〇〇年
遊行寺

遊行寺ライトアップ「遊行の光 藤沢宿を照らす荘厳(しょうごん)」開催について

今回のライトアップは、樹齢700年を越えるといわれている遊行寺のシンボルツリー「大イチョウ」が黄金に輝く季節に、遊行寺境内をイチョウの花言葉「荘厳」の光で照らし、地域の方にその雄大な世界を楽しんでいただくために企画されました。

「荘厳(しょうごん)」とは美しく厳かに飾ることの意味で、大イチョウをはじめ、本堂やいろは坂など遊行寺が誇る景観を、それぞれの放つ光や年月を経た風合い、重なりあう木の葉がみせる陰影など個々が放つ光を厳かに照らします。

観光資源豊富な藤沢市の中でも、地元で息づく歴史的な風情を今も感じることができる遊行寺は、藤沢市の歴史を後世へと受け継ぐための資源として、また地域の方の憩いの場として在り続ける寺でありたい。その思いから集まった地域の力によって今回のライトアップが実現しました。師走の夜、訪れた方をひと時の荘厳の世界に誘います。



遊行寺のシンボルツリー「大イチョウ」の歴史

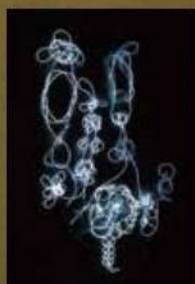
樹高約21m、市内でも最も太い木で、幹回りは約7mあり、昭和46年に市の天然記念物に指定され、藤沢を代表する樹木のひとつです。

樹齢700年の長い歴史の中で、度重なる災害に遭い、時に姿を大きく変えてもなお、今に生き続けております。昭和57年8月、当時31mほどあった大木は台風によって約3分の1が折れてしまい、その際は数十年をかけて無事、繁茂しました。しかし、令和元年10月、再び大型台風の影響で幹が大きく裂け、一部が折損。その痛ましい姿に遊行寺関係者をはじめ近隣住民など多くの方が悲しみました。

現在は専門家による調査を経て、傷ついた部分を保護し、イチョウの生命力を信じて、自然治癒を待つ状態となっております。

藤嶺学園藤沢中・高等学校×湘南工科大学 アート展示 「光を結ぶ、光を掬(すく)う、光を聴く」

湘南工科大学総合デザイン学科中尾研究室の先生と学生が講師となり、藤嶺学園の生徒の皆さんと共同制作を行いました。LEDテープライトを使用して伝統的な飾り結びの技法「花結び」で仕上げた立体作品と、境内で撮影、録音した素材を使った映像作品が、「遊行の光」と共に大書院や中廊下の空間全体を彩ります。



協力:  藤沢市アートスペース (藤沢市辻堂神台2-2-2ココテラス湘南6F)

展示会場 | 大書院、中廊下

交通アクセス

【藤沢駅】 JR東海道本線・小田急江ノ島線・江ノ島電鉄

【藤沢本町駅】 小田急江ノ島線

藤沢駅より

徒歩 藤沢駅北口より約15分

バス 藤沢駅北口4番または5番のりば

「戸塚バスセンター行」「大船駅西口行」乗車、「藤沢橋」下車

タクシー 藤沢駅北口より乗車「遊行寺まで」とお伝えください

藤沢本町駅より

徒歩 藤沢本町駅改札口より約20分

※境内をライトアップ演出いたしますので、車でのお越しはご遠慮ください。



◎ 時宗純本山 遊行寺 TEL 0466(22)2063